

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

KOZMOS

特集 来館者975人にきました！

お茶やコーヒーなどのドリンクサービス
(法律3年・男)



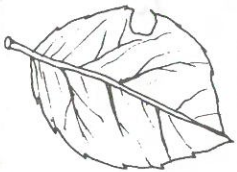
自動販売機がほしい
(経営1年・男)



100回借りたら勤労勲章として金一封もらえる
しかもそれを渡す時ニューヨークのトップモデルにキス
しながらもらえる。そうすると図書館は繁栄すると思う。
(法律4年・男)

もっと簡単な検索システムがほしい。視聴覚室にあるビデオや
CDが古いのが多いのでもっと新作をバンバン入れてほしい。
(社会3年・女)

肉か書庫がほしい！
(中哲3年・女)



新聞や雑誌が気軽に読めるところ。
(社会4年・男)

著名作家の作家別のコーナー
ベストヤラーコーナー
公務員を目指している人が多いので
公務員の勉強策コーナー
(法律4年・女)



オピニオン大集合

たのびたのさで Goodでした。
(経営3年・男)



館員の方がすごく親切
(英文1年・女)

non-no や料理の本や an-an など、図書館内
でよめる雑誌を置きたいです。
(短大・英文2年・女)

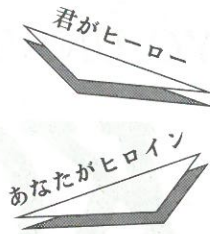
コピーマシンをもっと増やして欲しいです。
(教育4年・男)



特集

来館者

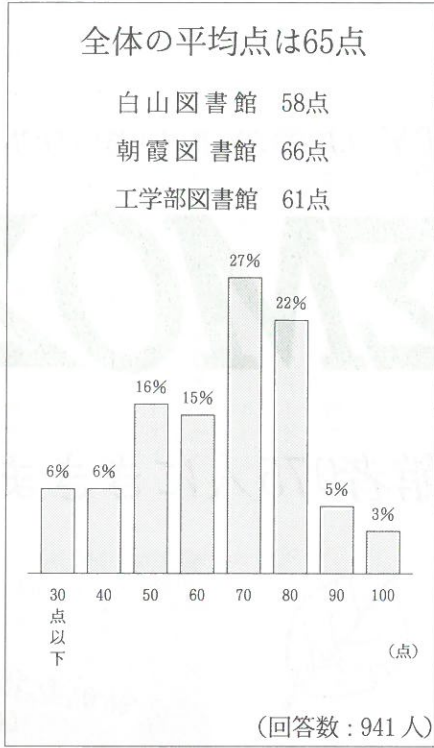
975人にききました



今回のコスモスでは、普段図書館を利用されている方々の“声”を集めてみました。そこでわがスタッフは、皆さんの図書館に対する想いを発表してみます。

図書館の満足度を

100点満点で採点してみると？



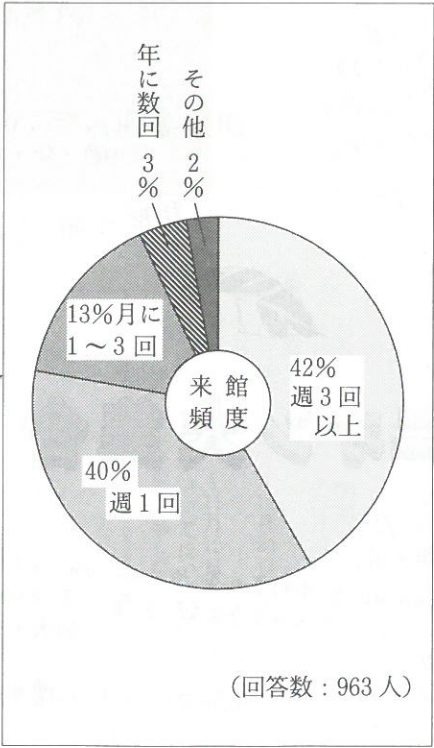
まずまず皆さん満足しているようです。

平均点65点は合格圏か？

主な利用時間帯

は7割の方が午後に集中しています。人の少ない静かな午前中が図書館の使い時・穴場と言えます。

4割が週3回以上の“常連さん”



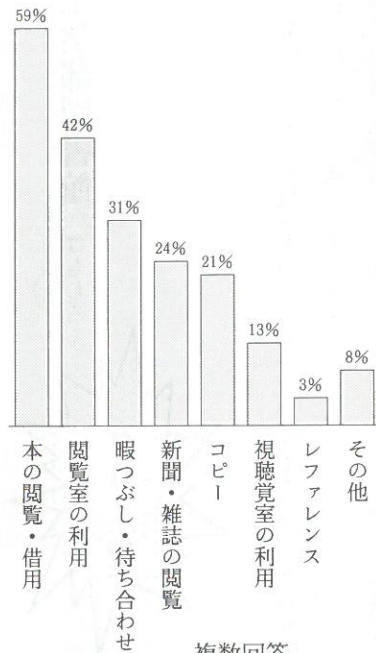
いまだ図書館に足を踏み入れたことがないと豪語する学生さん！“常連さん”の陰にはきっとおもしろい何かがあるのでは・・・それをつきとめてみてはいかがでしょう。

アンケート調査データ

期 間 '93. 9. 20～
9. 22

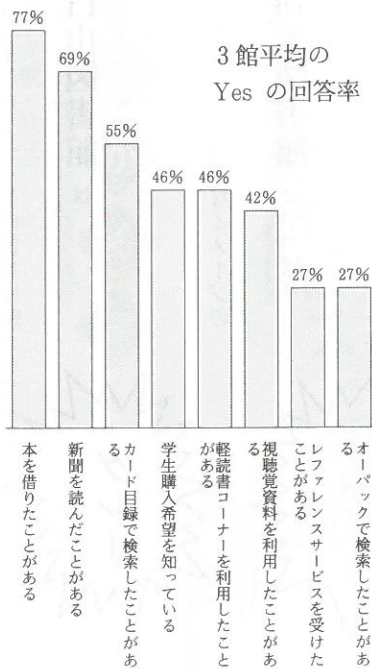
回答者 合 計 975人
白 山図書館 381人
朝 霞図書館 478人
工学部図書館 116人

図書館を利用する目的



複数回答
回答数：1925件

図書館サービスの活用度はいかほど？



3館平均の
Yes の回答率

目的・活用度とも「本」の利用がダントツ一位。三館の回答でめだつて違った点は、朝霞での視聴覚資料の利用が52%と高いこと。開架ス

ベースの少ない白山の目録検索が多いこと。それぞれの悪条件・好条件をうまく使っている様子が伺えます。

東洋大生がすすめる ザ・ベスト5

本

- No.1 アルジャーノンに花束を (ダニエル・キイス著)
- No.2 ノルウェイの森 (村上春樹著)
- No.3 人間失格 (太宰 治著)
- No.4 燃えよ剣 (司馬遼太郎著)
- No.5 こころ (夏目漱石著)

雑誌

- No.1 Tokyo Walker
- No.2 Newton
- No.3 オレンジページ
- No.4 Number
- No.5 AERA

作家

- No.1 落合 信彦
- No.2 吉本 ばなな
- No.3 司馬 遼太郎
- No.4 シドニー・シェルダン
- No.5 遠藤 周作
- No.5 椎名 誠

ビデオ

- No.1 美女と野獣
- No.2 フィールド・オブ・ドリームズ
- No.2 ボディガード
- No.4 ゴースト
- No.5 ダンス・ウィズ・ウルブズ
- No.5 スタンド・バイ・ミー

我が図書館で所蔵しているものもあります。お手にとってみて下さい。

3館のイメージカラー

建物の色か？

はたまたカーペットの色を反映させてか？

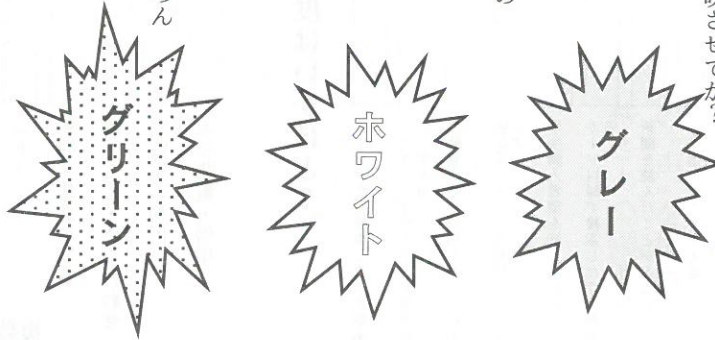
白山図書館は

きれいで、清潔なイメージの

朝霞図書館はやっぱり

キャンパスっぽい木々。
自然に囲まれての

工学部図書館はもちろん



静かで広いという意見があった一方で、「うるさい！」という憤りの意見が三館に共通して多く寄せられました。

資料については専門書・新刊本の要求が多く、これからの選書に力を入れていきたいと思えます。

題してここがGOOD&ちょっと

工 学 部 派	朝 霞 派	白 山 派	GOOD	ちょっと	コメント
<ul style="list-style-type: none"> 参考図書が多い 本が多い AVが貸りられる 涼しい(夏場) 天井が高い 広い・きれいな 窓が大きい カバンの持ち込み可 環境がよい 	<ul style="list-style-type: none"> きれいな 広い 静か 落ちつける 視聴覚が充実している 水の音が聞ける 	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧室が広い 貴重な資料が豊富 開館時間が長い 静かで明るい 屋上がある 喫煙所がある 職員が名札をつけている 	<ul style="list-style-type: none"> コピー機が少ない きたない・うるさい 狭い 資料が少ない 閲覧手続きが不便 目録カードがひきにくい 開架が少ない 床積みの本 オーバークが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 本を読むスペースは広いのに、置いてある書庫が狭くてという意見多数、これも新館ができるまでのしんぼう。 	<ul style="list-style-type: none"> 良い面でのロケーションに関する回答が非常に多かった。皆、快適な空間を求めているのだ。 そこに専門資料がそろえば完璧なのだが...

また現在行われているサービスを知らないために起こる不満も何件かみられました。どんどんカウンターの係にお尋ね下さい。

あさか

- ◇バーコード貸出
- ◇飲食コーナー
- ◇自動検索
- ◇自由に使えるワープロ

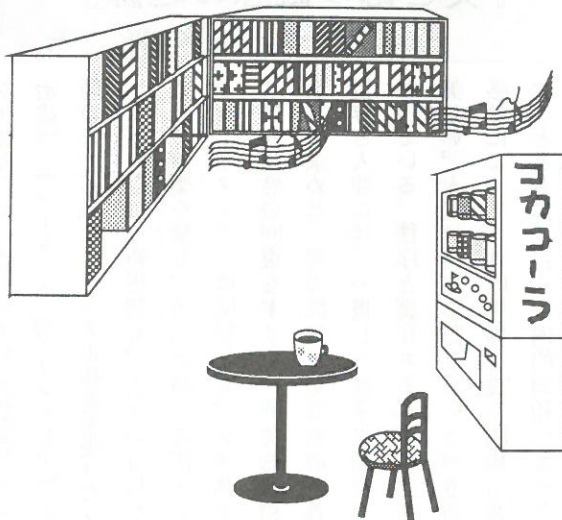
こんなもの

欲しい!!

こんなサービス

こうがくぶ

- ◇自動販売機・飲食コーナー
- ◇ロッカー
- ◇新しい専門書
- ◇セルフサービスの文献検索システム



- ◇チャイムを鳴らして
- ◇日曜開館（試験期しています）
- ◇長期休暇中の開館日をふやしてほしい
- ◇オーパックの台数をふやして
- ◇使いやすい検索システム
- ◇レポートには「この本を使い!!」コーナー

- ◇パソコンコーナー
- ◇BGM
- ◇おしぼり
- ◇マッサージ
- ◇傘貸出し
- ◇個人机

はくさん

- ◇自動販売機・食堂・売店
- ◇閲覧可能のラウンジ
- ◇広い開架書庫

- ◇ワープロスペース（ありますヨ）
- ◇返却ポスト（もうちょっと待ってネ）
- ◇図入り図書館案内
- ◇5cm高いイス
- ◇閉架書庫に移動可能のイス
- ◇すべてのサイズが使えるコピー機
- ◇FAX
- ◇おしぼり
- ◇新刊の専門書
- ◇ベストセラー・推理小説・歴史小説etc
- ◇視聴覚資料をふやして（CD・ビデオ・LD）
- ◇映画をもっと上映してほしい

いかがでしたか？ あっ、私も、なんておもったりしたのではないですか？ 私たちは皆さんのご希望に少しでも近づけるよう頑張ります。アンケートのご協力ありがとうございました。



フランシス・ハチスン（一六九四—一七四六）は、一七三〇年から没年まで、スコットランドのグラスゴー大学で、道徳哲学の教授として活躍した人物である。ロック、ニュートン、スミス、ヒュームといった一

七・八世紀イギリス思想界の巨人たちの間にはさまれて、彼の名は多少なじみの薄いきらいがあるうか。しかし道徳感覚派の先駆者として、ヒュームやカントの倫理思想に与えた影響はきわめて大きい。また「忘れ難いハチスン」と彼を呼んだ教え子アダム・スミスが、一代置いて彼のポストを継いだことも、よく知られた挿話である。

彼は北アイルランドで、ピューリタン長老派の牧師の子として生まれた。グラスゴー大学で学んだのち、一旦は故郷に戻って家職を継いだが、一七二〇年代のはじめダブリンに長老派の学校が開設された時、招かれて教師となった。当時ダブリンには、進歩的な貴族として

貴重書を訪ねて
フランシス・ハチスン

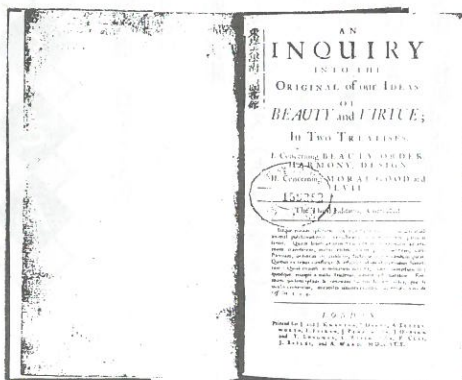
『美と徳の観念の起源』

平野 耿

名を馳せたモールズワースが住んでいた。彼は自宅を解放し、哲学や文芸に関心を持つ知識人を招いて社交を楽しむかたわら、敬愛するシャフツベリの思想を鼓吹した。

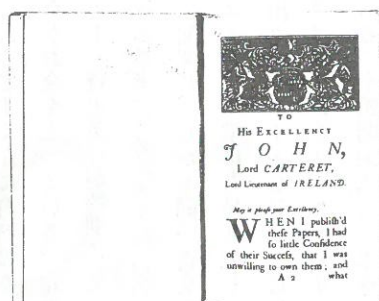
一八世紀前半のスコットランドやアイルランドでは、ロックの『人間知性論』や『統治論』、ニュートンの『プリンキピア』が話題の書であった。ロックの扶育を受けたシャフツベリが説く新思想も、人々の耳目を集めた。快楽を禁じ、美への憧れを閉ざしたピューリタニズムに反対して、シャフツベリは人間性の回復をギリシャ的美的調和のうちに求めた。神の御業として創造された世界と人間には、一貫した秩序と調和が備わっている。秩序と調和あるものは完全で美しい。人間は内なる眼ともいうべき道徳感覚によって、外的世界を貫く調和に共鳴するとともに、自らの内的調和つまり善き徳の実現をはからなければならない。シャフツベリは、当代社会の競争原理と見做された利己説に代わって、他人に好意を示そうとする本性、つまり「仁愛」に道徳の根源を見出し、それと自愛的な利己心との調和をはかることを目指した。異教的な香り

のするこの思想を巡って、モールズワース邸に集う人々の論議も白熱した。アーバツクルが編集する「ダブリン・ジャーナル」には、二五年から二七年にかけてハチスンを含むシャフツベリ信奉者が次々に寄稿し、ホップズやマンデヴィルの利己説批判に健筆を揮っている。こうした知的交流のなかから、ハチスンの処女作『美と徳の観念の起源』についての研究・二論（ダブリン、一七二五年）が生まれたのである。初版のタイトル・ページには、更に次のような副題が付されている。「本論では、今は亡きシャ



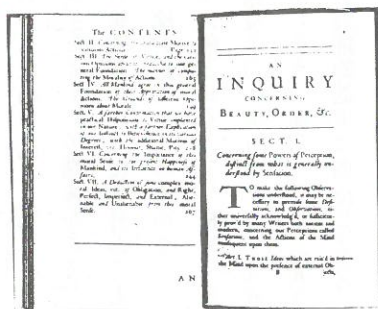
フツベリ卿の諸原理が解説され、『蜜蜂の寓話』の著者(注。マンデヴィル)に対して擁護される。そして道徳的善と悪との観念が、古代の道徳学者の見解に従って確立され、併せて道徳の諸問題への数学的計算を導入する試みも行われる」と。標題で意図されているように、ハチソンは本書を二論文で構成した。第一論文の主題は「美、秩序、調和、構想について」、第二論文のそれは、「道徳的善と悪について」である。

すぐれたハチソンの研究家スコットによると、これらの論文はすでに二年前に書き上げられていたらしい。その草稿はモールズワースと、同邸の会合で知り合った国教会の牧師シングの批評と賛同を得て、匿名



で出版された。当時新思想は常に非難と迫害の的となったし、著者自身も述べているように成功がおぼつかなかったためである。幸い初版は好評で迎えられ、匿名のまま論争が開始された。しかしよき庇護者モールズワースは、この年の五月に世を去った。その時点で彼はまだ無名であった。

ところが、ハチソンを世に送り出す有力な人物が現われた。アイルランド総督に任命され、前年暮にダブリンに着任した文人カートリット卿である。たまたま本書に興味を覚えた卿の著者探しが始まった。書店に託した手紙が遂に卿とハチソンを結びつけた。あらためて卿から示された知遇に応



えてハチソンは覆面を脱ぎ、卿への献辞を添えた改訂増補第二版をロンドンで出版した。一七二六年のことである。

ハチソンはこうして論壇にデビューした。効果は顕面であった。新思想の旗手、道徳哲学者としての名声も漸く確立し、三〇年には母校グラスゴー大学の教授に選任された。その間寄せられた数々の批評に応えて、彼は本書の改訂と増補に腐心した。第二版に続いて第三版(二九年)、第四版(三八年)、死後に第五版(五三年)が、いずれもロンドンで出版された。仏訳(四九年)、独訳(六二年)により、彼の思想は大陸にも知られるようになった。まとまった著作として、他に『情念論』(二八年)と遺稿『道徳哲学体系』(五九年)があるが、やはり客気にあふれる本書で彼の名は後世に残ることとなった。本学図書館が所蔵するものは第三版。タイトル・ページの刺激的な副題は第二版より削除され、代って二論文の主題が記されている。内容に関心のあるむきは、第四版を底本とした山田英彦氏のすぐれた邦訳(玉川大学出版部、一九八三年)の一読をおすすめする。(工学部教授・ひらのあきら)

外国の図書館シリーズ —その6—

ダブリン・シティ大学

中山 伸樹

ダブリンは今日も時雨
れているだろう。急ピッ
チで拡張中の新興の大学、
DCUは、ダブリンの北の郊外にある。国
立高等教育研究所（一九七五）を基に一
九八九年に大学となった。学生数三〇〇〇、
教員数一四〇。

三階建ての本館の一角が図書館。蔵書数
五四〇〇〇冊。入り口前は「ストリート」
と呼ばれ、ガラス屋根の吹き抜けのホール
で、植木のまわりにケルトの末裔達がたむ
ろする。入ってすぐ左に有料のクローク。
学生組合がお金をとっている。左奥に指定
書コーナー。貸出条件が特別になっている。
授業関連の参考書・必読書を科目名と教師名
を付けて配架し、しかも同一書を複数用意
するシステムは本学にも是非欲しい。中央
に、貸出カウンターとCD・ROMなどの
検索室。パソコンやマイクロ・リーダーが
置いてある。全館開架式で、本棚の間に閱

覧デスクがある。蔵書カードはなく、代わ
りにあちこちにOPAC (Online Public
Access Catalogue) の端末がある。これに
は館外の研究室、さらに学外からもアクセ
スでき、検索結果を手もとのフロッピーの
ファイルに落とせるので、極めて便利。本
学でも週及入力が進行中だが、完成には時
間がかかりそう。漢字OCR (光学的文字
認識) の飛躍的進歩に期待しよう。DCU
の貸出業務ではカード記入も不要。本と学
生証とについているバー・コードをなぞる
だけだ。規模は小さいが、館内には本は
部分コピーや現物をイギリスから取り寄せ
てくれる。ちなみに、こうした情報検索や



研究支援の問題を提起したのは、アイルラ
ンド生まれのJ・D バナールの『科学の社会
的機能』（一九三九）だった。アイルラン
ドは緑の国、羊の国。スウィフト、ジョイ
ス、小泉八雲、そしてロックのU2を生ん
だ国。極東の日本からすれば、ユーラシア
大陸の向こう側、極西の国である。

（社会学部助教授・なかやまのぶき）

図書館アラカルト

大学祭期間中の開館について

★白山

11月19日（金）開館
11月20日（土）11月24日（水）閉館

★朝霞

11月20日（土）11月24日（水）閉館

★工学部

11月11日（木）11月15日（月）閉館
その他の情報については、各館発行のPR
パンフ・掲示等をご覧ください。

KOSMOS (No.103)

1993年10月27日発行

発行人：松本恒之

発行所：東洋大学図書館

〒112 文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7314

© 東洋大学図書館 1993